

## 久留米大学医療センターを受診した患者さんへ

「下肢人工関節手術における血栓予防効果、薬剤安全性の比較検討」の研究に使用する試料について

この研究では、久留米大学医療センターを受診し、手術・検査の際に採取し保存されている以下の試料を使用します。

- 1) 期間：2010年1月から2013年3月まで
- 2) 受診科：整形外科
- 3) 対象疾患名：変形性関節症、大腿骨頭壊死症、リウマチ性関節炎
- 4) 使用する試料：採血データ、下肢静脈エコーの結果および入院時カルテ

あなたの試料を今後の医学の進歩のために研究に使用させていただきたくお願い申し上げます。研究の内容の詳細は以下のとおりです。

研究内容をよくお読みになり、もし研究にご協力いただけない場合は、お手数ですが下記の連絡先までご連絡ください。

- 1) 研究組織：所属：整形外科  
研究代表者：助教 吉川英一郎  
研究分担者：准教授 後藤昌史  
教授 志波直人

2) 研究の意義と目的：下肢人工関節手術における下肢静脈血栓塞栓症は重要な術後合併症の一つとして挙げられます。下肢人工関節手術は下肢静脈血栓塞栓症の高リスクにも分類されており、その予防、薬剤の有効性と安全性の確立が必須です。そこに焦点をあわせた研究を行うことを目的としています。

3) 研究の方法：久留米大学医療センターで初回下肢人工関節手術を受けられた症例に対して、カルテ、採血データ、下肢静脈エコー検査結果などを基に、薬剤の有効性と安全性、下肢静脈血栓塞栓症のリスク因子を統計学的に有意差がでるものを比較、検討します。

4) 研究期間：2014年9月倫理委員会承認後～2016年8月31日まで

5) 上記の試料の使用を選定した理由：後ろ向き研究のため

6) プライバシー保護・人権保護・倫理的配慮について：取得した個人情報を見ることのできるのは、研究代表者および分担研究者とします。また、個人情報は研究代表者が厳重に管

理し、個人の特特定できる情報が第三者の目に触れることがないように責任を持ちます。取得したデータは後日再確認作業が必要になった時に備えて保存しておきますが、これも研究代表者が厳重に管理、保管し、個人の特特定できる情報が第三者の目に触れることがないように責任を持ちます。個人の特特定できる形での成果の公表は決して行いません。

7) 研究成果の発表の方法：整形外科関連学会および学術集会雑誌での発表を行います。

8) その他：利益相反は存在しません。

9) 事務局、問い合わせ、連絡先：

吉川英一郎 整形外科 助教

福岡県久留米市旭町 67 番地 整形外科学講座

TEL:0942-31-7568

FAX:0942-35-0709

研究番号 14094